

日本語教室などでの日本語学習支援に興味がある方に向けた基礎研修です。
地域に暮らす外国人県民の方々と、活動を通じてつながってみませんか。

令和8年度 日本語学習支援者 基礎研修

オンライン
ZOOM開催
無料

日程 令和8年 6月4日・11日・18日・25日、7月2日
毎週(木)・全5回 13:00～15:30



対象 18歳以上の千葉県民で全日程参加できる方。かつ
日本語学習支援に興味があり、活動したいと思っている方。

当センターが過去に実施した「日本語学習支援者基礎研修」や「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を受講した方は応募できません。

講師 有田玲子氏（東京にほんごネット代表）

各回のテーマや内容は裏面をご覧ください



定員 30名

申込 財団HPの申込フォームもしくは、右の二次元
コードよりお申込みください。

先着順（ただし、支援活動未経験者を優先）

締め切り

5月25日(月)



お願い

本研修は文部科学省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用して実施するものです。研修ではカリキュラム改善等を目的として、研修の様子を録画します。また、一部の画像および研修内で実施するアンケートは、文部科学省に提出するとともに、千葉県や当センターの広報等に使用する可能性があります。ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催
千葉県

実施・お問合せ

（公財）ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

TEL 043-297-0245

nihongo@ccb.or.jp



令和8年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 活用

生活の中で使う「日本語」や、日本語教室の役割、やさしい日本語などについて学びます。
また、グループワークを通して、実践的に理解を深めます。



日程と内容

Day1

6/4(木) 生活者のための「日本語」と 日本語教室の役割

地域の在住外国人の状況を把握し、日本語教室の役割や、日本語学習支援者としての役割を考えます。

Day2

6/11(木) やさしい日本語

外国人にもわかりやすい日本語を使った上手なコミュニケーションの方法を学びます。



Day3

6/18(木) 外国語としての日本語を 見てみよう

外国人が日本語を学ぶとき、私たちが学校などで学んだ国語とは違う方法を使います。日本語を外国語として考え、その特徴や、学ぶ方法をみていきます。

Day4

6/25(木) 日本語教室の活動①

動画などの教材を活用しながら「やさしい日本語」をいかした上手なコミュニケーションを考えます。

(文部科学省「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」を一例に)

Day5

7/2(木) 日本語教室の活動②

地域の教室で使いやすい教材や、身近な素材、テーマで行う教室活動を紹介します。また、これまでの学びをいかした教室での支援方法について、体験をとおして学びます。

令和7年度受講者の声



ブレイクアウトルームでのグループ活動が実践的にできてよかったです。初めて日本語を習う学習者にどのように対応したらよいか、たくさんのヒントをもらいました。

奥深い世界であることや、寄り添い、一緒に楽しむということを心に置いて活動したいと気づきました。